

# かけはし

第 8 号

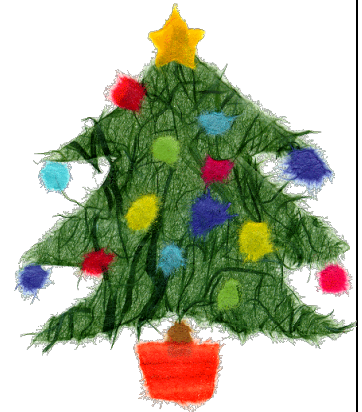
平成28年12月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

## 自分を大切にすること

校長 川崎 直人

ある知り合いの話です。「自分を生かすために自分を大切にしている超一流の人は、野球のイチロー選手です。彼の活躍はいつもニュースで聞いています。今日まで大きな故障がありません。スランプこそありますが、自分の健康をしっかり管理しているからだと思います。そして何よりも自分の野球道具を大切に扱っているそうです。毎日のプレーには、うまくプレーできずに腹がたつこともあると思います。でも道具にあたり、粗末に扱ったりしている場面を見たことがありません。うまくプレーできなかった仲間の選手にも、必ず励ましている様子が映像から見てとれます。一流選手という人は人やものを大切にし、自分も大切にしている人だと思います。」



私たち教師は、子どもたちが人生のなかで一人の人間として輝いていてほしいと願っています。誰もが一流になることはできないと思いますが、子どもが輝こうとする意欲を持たせるのは、私たち大人の責務だと思います。

学校では、毎日の学習活動の中で友達と関わり合い、助け合い、仲間の良さに気付かせる体験がたくさんできるよう心がけています。そのためには子どもの心の健康が不可欠です。家庭のあるべき姿が重要となります。子どもにとって一番安心感のある場所は家庭です。家庭で保護者の温かい愛情を受け、子どもは心のエネルギーを満たすのです。エネルギーが満たされた子どもは学校でも意欲的です。勉強や友達との関わりも前向きで積極的に頑張ります。自分を大切にしようとするとともに、友達も大切にしようします。何よりも自信のある行動ができます。

冬休みが近づいてまいりました。お子様の健全な成長に見通しを持ち、毎日の子どもとの関わりを大切にしようと思います。